

「今後 10 年の岩手の目指す将来像」に係る議論の進め方について

《配付資料》

資料 6-1 「岩手県を取り巻く現状及びこれまで頂いた御意見等」

昨年 6 月及び 11 月に開催した審議会において、委員の皆様から頂いた、本県を長期的に展望する上で重視すべき点や今後 10 年の岩手の進むべき方向性等に関する御意見、「幸福」に関する有識者の御発言や「岩手の幸福に関する指標」研究会中間報告書において示された「幸福度の指標体系」などを整理しています。

資料 6-2 「今後 10 年の岩手の目指す将来像 [たたき台]」

「資料 6-1」を踏まえ、今後 10 年の岩手の目指す将来像を議論するに当たっての「たたき台」とするため、事務局が作成したイメージを「例」としてお示ししています。

「目指す姿」では、現在の「いわて県民計画」の目標・未来像を仮置きしています。

「目指す姿を描く上での切り口」として「幸福」、「個と社会との関わり」を置き、「幸福度の指標体系」における 4 つの大領域を柱に、目指すイメージ、連想されるキーワード、「幸福度の指標体系」における 12 の領域を基本とした具体的分野を仮置きしています。

資料 6-3 「(参考) いわて県民計画 (H21. 12 策定) 時の検討状況」

参考として、平成 21 年 12 月に策定した「いわて県民計画」の検討時の状況として、「総合計画審議会における審議内容等」及び「いわて県民計画の構成」を記載しています。

《頂きたい御意見》

今後 10 年の岩手の目指す将来像として、「目指す姿」、「目指す姿を描く上での切り口・柱立て・具体的分野」などについて、幅広く、様々な御意見をお願いします。